

認定看護師が答えます 市立病院で相談ポストを設置

青野町の市立病院は12月1日から「認定看護師お気軽相談窓口」を開設。各分野において専門知識を持った認定看護師が、皆さんの相談に応じます。受診前や療養中の不安、困り事など、気軽にご相談ください。患者本人だけでなく、その家族の相談も受け付けます。

相談方法／備え付けの相談用紙に記入し、同病院1階待合ホール中庭側に設置の「相談ポスト」へ。

回答方法／担当の認定看護師がそれぞれの活動日に、相談者の希望により電話かメール、面談で対応。

相談料／無料

活動日	相談分野	例えば…こんなことが相談できます
月・水曜日	糖尿病看護	糖尿病のこと、足のケア
火曜日	がん性疼痛看護	がんによる体と心の痛み
水曜日	緩和ケア看護	がんによる体のだるさ、不安、経済的な心配
木曜日午前	摂食・嚥下障害看護	食べ物を飲み込む機能、食事の介助方法
金曜日	皮膚・排泄ケア	床ずれや尿もれ、皮膚のトラブル
随時	認知症看護	もの忘れ、認知症の介護
	感染管理	インフルエンザなどの感染予防、対策
	がん化学療法看護	抗がん剤治療

問い合わせ／市立病院☎(43)0123

本市の定住促進事業 先駆的な「綾部スタイル」が評価



本市の空き家を活用した定住促進の取り組みが、都市みらい推進機構の土地活用モデル大賞で審査委員長賞を受賞しました。本市の▽商工会議所や地元宅建業者と連携した不動産の取り引き▽自治会連合会と協働で行う空き家の掘り起こしーなど、先駆的な「綾部スタイル」の取り組みが評価されました。10月30日には東京都内で表彰式が行われ、賞状と盾=写真=が授与されました。



エルサレムには嘆きの壁(ユダヤ教)、聖墳墓教会(キリスト教)、岩のトーム(イスラム)などの3つの三神教の聖地が隣接



本年7月に来綾したルツ・カハノフ前駐日イスラエル大使(左奥)と再会

イスラエルを訪問 平和への思い新たに

本市の友好都市・エルサレム市のあるイスラエルを山崎善也市長らが11月18~24日の日程で訪問。エルサレム市長やイスラエル・パレスチナ紛争遺族会の関係者らと面会し、遠く離れていても平和を願う私たちの思いを直接伝えました。



ニール・バルカット市長と記念品を交換

山崎市長は21日に、エルサレム市庁舎でニール・バルカット市長を表敬訪問。バルカット市長の訪日を呼び掛けたほか、綾部市との今後の友好と交流について確認するなどしました。

また同日、同市内のイスラエル外務省でオメル・キヤスピール北東アジア局長やルツ・カハノフ前駐日イスラエル大使らと面談。さらに、23日にはテルアビブ市の在イスラエル日本国大使館で富田浩司特命全権大使と面会したほか、パレス平和センター等も訪問し、平和へ向けた取り組み等について意見交換しました。

友好都市エルサレム市へ

キーワード

エルサレム市との友好宣言

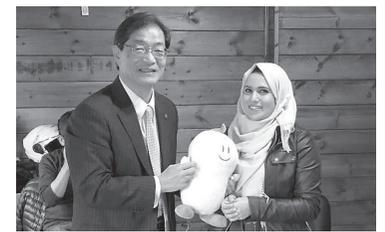
両市は「世界の恒久平和の実現」を共通目的として、平成12年に友好を宣言。綾部駅北口には、友好宣言を記念して建立されたアンネ・フランク像があります。

中東和平プロジェクト

紛争で親族を亡くすなどしたイスラエルとパレスチナ双方の青少年を日本に招き、2人1組でのホームステイなど、交流を通じて平和への認識を深めてもらう取り組み。平成15年の綾部市での開催以降、10回を数え、延べ107人(引率18人含む)を招致。

来日した学生と再会

22日には、パレスチナ自治区のベイト・ジャラ市内でイスラエル・パレスチナ紛争遺族会の関係者らと面会。昨年の中東和平プロジェクトで来日したパレスチナの学生、サラム・アブアラさんは「プロジェクトへの参加は私にとって大きな経験になっている」と喜びました。また、同遺族会幹部のエフラット・タルさんは「これからも青年の派遣を続けたい」と述べ、プロジェクトの継続に向け、互いに協力していくことを確認しました。



和歌山県高野町での中東和平プロジェクトで昨年、来日したサラム・アブアラさん